

“街道テクテク・甲州道中” No.1 (2018-09-16)

参加者：芦田拓也、荒木義修、碓貴臣、黛政男、太田哲夫、大山敏雄、後藤幸子、佐熊範和、染谷みどり、政芳一、松下隆、水越正孝、矢崎文彦、山岸任、山口健三、木村芳一

行程：日本橋→新宿 9km

日本橋→一石橋（昔、二つの後藤屋敷があり、後藤が五斗になり、併せて一石になる）→北町奉行所跡（東京駅横）→和田倉橋→日比谷→桜田門（桜田門外の変）→渡辺崋山誕生地→半蔵門→心法寺→西念寺（服部半蔵の墓）→愛染院（埴保己一の墓）→東福院（豆腐地蔵）→お岩稲荷田宮神社→消防博物館（大正から平成にかけて活躍した消防自動車の名車の展示）→四谷大木戸跡碑・水道碑記・玉川上水水番所跡→青梅街道追分→新宿駅南口→居酒屋“三平酒寮”にて反省会

・今回は都心でも緑豊かな、皇居と新宿御苑を結ぶ道であった。皇居の周囲はマラソンを楽しんでいる人が多く、歩きづらかった。

・北町奉行所跡、桜田門、半蔵門、お岩稲荷田宮神社、玉川上水水番所跡等の歴史を感じさせる場所が所々に残っていた。

・新宿駅南口は、昔（40年以上前）、新宿駅の中で最も静かな場所であり、人との待合せには好都合であったが、いまは雑踏の場所になっており、時の流れを感じた。

・むし暑く、かつ久々のテクテクであったので、歩くペースが非常に遅く、予定の到達場所に至らなかった。次回は頑張りたい。



(木村芳一)